



「共生の心」を育む取組！！ ～福祉講話を行いました～

11月21日(月)の3校時に、体育館で小池さんによる4・5・6年生対象の福祉講話が行われました。小池さんは以前、保健士をなさっていましたが、腰のケガから脊椎の病気を発症し、一時は寝たきり状態となりましたが、今は車椅子を駆使して元気に毎日を過ごされ、水泳で全国大会に出て大会新記録を出したり、趣味の裁縫をなさったり、介護士をするなど活躍されています。講演はご自分の体験談ですのでわかりやすく心に迫るものがあり、車椅子や自宅のバリアフリー化などについてはプロジェクターを使って説明してくださったので子どもたちも具体的に把握することができたと思います。



11月24日(木)の3校時に同じく体育館で、視覚障害者の市瀬さんによる1・2・3年生対象の福祉講話を行いました。盲導犬の優秀さを子どもたちに示すために、障害物を避けて市瀬さんを目的地に案内するデモンストレーションをしたり、点字を読んだり書いたりするところをスクリーンに大きく映しながら紹介したり、3年生の子どもたちが書いた点字の手紙を市瀬さんに読んでもらったり、低学年の子どもたちにもわかりやすいように様々な企画を行いました。また、体育館を退場する際に市瀬さんの前をとおし、「ありがとうございました」とお礼を言いながら帰りました！



この2つの福祉講話を通して、子どもたちに「福祉の心」や「共生の心」などを育むことができたと思います。小池さん、市瀬さん、本当にありがとうございました！！

先生方もがんばっています！ ～授業力のより向上を目指して～

「先生、今日の授業は“学び合いの学習”になっていて、とても良かったですよ！」「できればこの部分をこんな風に変えると、さらによい授業になります！」と、放課後や休み時間、校長室で先生方と毎日のように話し合っています。

今、一日一授業参観を目指して、各クラスの授業を観て回っています。本校の先生方は、皆、とても良い授業をしています。日頃、先生方は、子どもたちにとっても大人にとっても大切な力である、「考える力」・「判断する力」・「自分の考えを表現する力」を育てるため、子どもが自ら考え、判断し、友だちと話し合いながら課題を解決していく授業に積極的に取り組んでいます。十年一日のごとく昔からのやり方で授業をするのではなく、時代の流れに合わせ、常に新しいことに挑戦しているのです！ そんな挑戦し続ける本校の先生方に心から感心し、拍手を送っています。

学校応援団は出前授業で大活躍！

この4枚の写真は、それぞれ11月22日（火）に6年生を対象として行われた、穴切神社関係者による雅楽鑑賞と11月24日（木）に4年生を対象として行われた、県水晶美術彫刻協働組合の皆様による甲州水晶貴石細工の授業、11月25日（金）に3年生を対象として行われたおかめ麴の鶴田さんによる味噌づくり体験、12月1日（木）の春日地区消防団の皆様にご協力いただき消火訓練や消火のデモンストレーションを見せていただいた避難訓練の様子です。

いずれも共通していることは何か分かりますか？ 学校だけでは経験できない貴重な体験を地域や各団体の皆様方のご協力で実現することができたということです。こうした皆様方を学校応援団として登録していただき、これからも積極的にご支援ご協力いただく中で、素晴らしい体験を子どもたちに経験

させていきたいと思っております。ご協力いただきました皆様方に心からの感謝を申し上げますとともに、今後とも、是非、よろしく願いたします。



この冬から家庭学習の一層の充実を！

皆さん、“学年×10分”ってなんだか知っていますか？ これは、宿題や塾以外にする家庭学習の望ましい時間です。最近では、“学年×15分”と指導している教育委員会もあります。お子さんはこの位の時間、毎日、家庭学習をしていますか？ 是非、テレビ等を止めて、特に低学年のうち、家事をしているキッチン近くのテーブルが一番いいと思いますが、保護者の皆さんの目の届く所で、3年生以上は自主学習ノートの取り組みを中心に、学年相当の時間以上に家庭学習をする習慣づけのご指導をお願いします。

子どもに身につけさせたい学習習慣のしつけ

- ① 自分で学習計画を立て、それを実行する。
- ② 予習、復習をして授業に臨み、積極的に授業に参加する。
- ③ ノートの取り方、まとめ方を工夫し、効果的に使う。〈自主学習ノート〉
- ④ 効果的な覚え方、考え方を身につける。
- ⑤ テストの準備の仕方、返却テストの活かし方等についてよい習慣を身につける。

※ 低学年ではより保護者の支援を！ 高学年になるに従ってより自主的な学習に！